

研究協力のお願ひ

北海道大野記念病院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

課題名： 無症状多発転移に対する TomoTherapy の有効性の検討

1. 研究の対象

2006年4月～2018年12月31日に抗がん剤を拒否または適応外と診断された後、多発転移に対して Tomotherapy による治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

(1) 目的

脳以外の多発転移は化学療法の対象であり、従来放射線治療の適応外とされてきました。特に多発転移患者に対して個々の転移に照射していくことは「もぐら叩き」と言われ、一部の放射線治療医からは嫌われていました。しかし近年の治療技術の進歩により、多発転移でも TomoTherapy によって一度に容易に治療が可能となりました。私たちは、多発転移に対する TomoTherapy を用いた放射線治療をしばしば免疫療法と併用して施行する試みを行っています。

(2) 対象及び方法

1. 対象疾患又は病態

2006年4月から現在に至るまで、原発の種類を問わず、多発転移と診断され、抗がん剤を拒否、もしくは適応外と診断された方に対して強度変調放射線治療を施行された症例を拾い出します。

2. 対象者の選択基準・除外基準と、対象者の選定方法

< 選択基準 >

無症状多発転移

抗がん剤を拒否、もしくは適応外と診断

年齢・性別・原発巣・組織型不問

PS \geq 2

< 除外基準 >

前立腺癌、胸腺腫

多発肝転移（以前既に報告済のため）

< 対象者の選定方法 >

上記に当てはまる症例を診療録より選定いたします。

3. 目標症例数

名古屋市立大学病院 15 例

全体 30 例

研究期間

病院長許可日～2019 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、放射線治療の治療歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号

試料：血液

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

対応表は、当病院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

北海道大野記念病院 放射線治療科 喜多望海

名古屋第二赤十字病院 放射線科 杉江愛生

成田記念病院 放射線科 近藤拓人

春日井市民病院 放射線科 山田裕樹

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋市立大学病院 臨床研究開発支援センター

連絡先 平日（月～金） 8:30～17:00 TEL (052) 85 8-7215

研究責任者：

所属：北海道大野記念病院 放射線治療科 研究責任者：喜多望海

研究代表者：

所属：名古屋市立大学大学院医学系研究科 氏名：山田裕樹